

## 平成 26 年度消費者物価指数の概要

### 1 概況

#### ～総合指数 2 年連続の上昇～

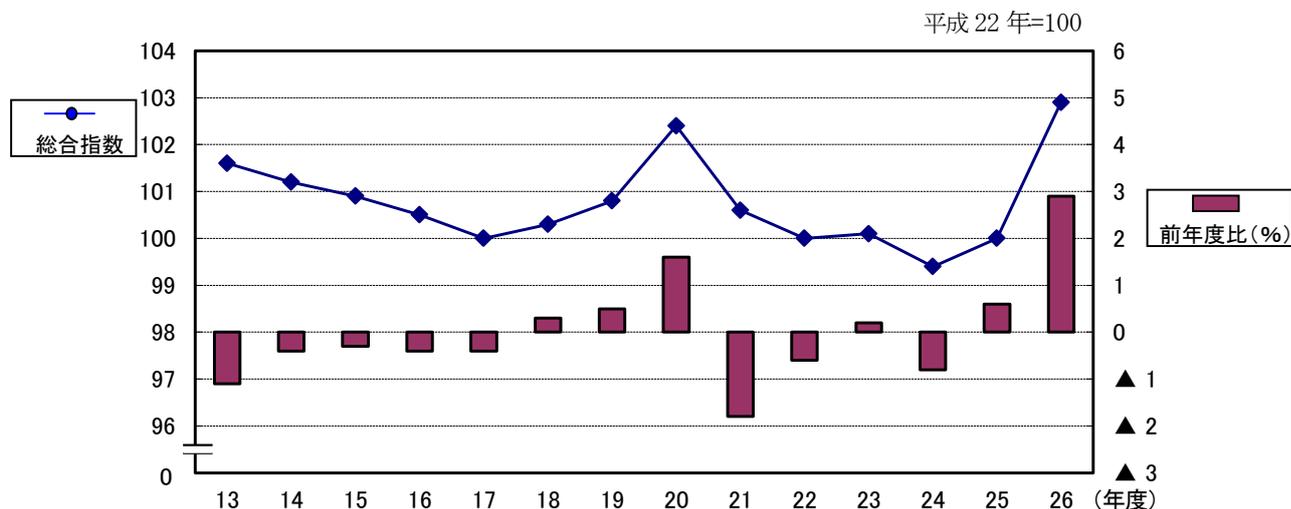
- 広島市の平成 26 年度平均総合指数 (102.9) は、前年度比 2.9% 上昇し、2 年連続で前年度の水準を上回った。

#### 年度平均の推移

平成 22 年=100

	年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
総合	指数	101.6	101.2	100.9	100.5	100.0	100.3	100.8	102.4	100.6	100.0	100.1	99.4	100.0	102.9
	前年度比(%)	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.4	0.3	0.5	1.6	▲ 1.8	▲ 0.6	0.2	▲ 0.8	0.6	2.9
生鮮食品を除く総合	指数	101.7	101.2	100.8	100.4	100.1	100.4	100.9	102.6	100.9	99.9	100.1	99.6	100.0	102.6
	前年度比(%)	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.1	0.3	0.5	1.7	▲ 1.7	▲ 1.0	0.2	▲ 0.5	0.4	2.6
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	-	-	102.1	102.1	101.8	102.3	101.1	99.8	99.4	98.5	98.4	100.2
	前年度比(%)	-	-	-	-	-	0.0	▲ 0.3	0.4	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.1	1.8

注) 前年度比は、平成 17 年基準までは、端数処理(四捨五入)後の小数第 1 位の指数値を用いて計算していましたが、平成 22 年基準からは、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。



### 2 費目別指数の動き

#### ～10 大費目での上昇は食料、下落は教育～

- 魚介類を含む食料は上昇に寄与した。
- 補習教育を含む教育は下落に寄与した。

上昇に寄与した主な項目	食料	魚介類 等
下落に寄与した主な項目	教育	補習教育

#### 10 大費目別指数及び前年度比

平成 22 年=100

10大費目別指数	費目	食料		住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
		生鮮食品	魚介類									
広島市	指数	105.4	109.5	99.3	113.7	94.1	103.7	100.2	104.2	98.0	96.6	108.9
	前年度比(%)	5.2	9.0	0.6	4.5	1.7	1.8	1.8	1.7	▲ 0.9	4.0	3.2
	寄与の大きな主な中分類	生鮮食品	魚介類	設備・修繕維持	電気代	家事用消耗品	下着類	保健医療用品・器具	交通	補習教育	教養娯楽サービス	他の諸雑費
	前年度比(%)	11.2	12.4	5.8	5.3	3.8	8.1	3.9	7.6	▲ 10.4	3.6	4.0